

令和6年度
大学院薬学研究所薬学専攻博士課程
授業科目・担当者

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			担当者
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	
学系共通	実験計画演習	1	2				○		全教員
	情報処理演習	1・2	2				○		全教員
	薬学研究総論	1・2	2				○		全教員
	小計(3科目)	-	6	0				-	
基盤薬学基礎科目	創薬化学 創薬化学特論	1・2	2				○		・小林(健)教授・高上馬教授・山田准教授・平山講師・坪郷講師・金講師
	創薬化学セミナー	1・2	2				○		・小林(健)教授・高上馬教授・山田准教授・平山講師・坪郷講師・金講師
	小計(2科目)	-	4					-	
	生命科学 生命物理学特論	1・2	2				○		・吉村教授・村井教授・北浦准教授・佐藤准教授・佐々木講師
	生命物理学セミナー	1・2	2				○		・吉村教授・村井教授・北浦准教授・佐藤准教授・佐々木講師
	小計(2科目)	-	4					-	
	分子生命科学 分子生命科学特論	1・2	2				○		・中川(宏)教授・大澤准教授・土田講師
	分子生命科学セミナー	1・2	2				○		・中川(宏)教授・大澤准教授・土田講師
	小計(2科目)	-	4					-	
	衛生薬学 衛生薬学特論	1・2	2				○		・浜上教授・小島教授・小林(大)准教授・寺崎准教授
衛生薬学セミナー	1・2	2				○		・小島教授・浜上教授・小林(大)准教授・寺崎准教授	
小計(2科目)	-	4					-		
臨床薬学基礎科目	薬理学 薬理学特論	1・2	2				○		・飯塚教授・泉教授・柳川教授・町田准教授・大橋准教授・鹿内講師・水野講師
	薬理学セミナー	1・2	2				○		・飯塚教授・泉教授・柳川教授・町田准教授・大橋准教授・鹿内講師・水野講師
	小計(2科目)	-	4					-	
	薬剤学 薬剤学特論	1・2	2				○		・小林(道)教授・柴山教授・伊藤准教授・小田准教授・中川(勉)准教授・久保講師
	薬剤学セミナー	1・2	2				○		・小林(道)教授・柴山教授・伊藤准教授・小田准教授・中川(勉)准教授・久保講師
	小計(2科目)	-	4					-	
実務薬学 実務薬学特論	1・2	2				○		・平野教授・中山講師・櫻田講師・早坂講師	
実務薬学セミナー	1・2	2				○		・平野教授・中山講師・櫻田講師・早坂講師	
小計(2科目)	-	4					-		
基盤薬学応用科目	医薬品開発特論 I	2~4	2				○		・小林(健)教授・平山講師
	医薬品開発特論 II	2~4	2				○		・山田准教授・坪郷講師
	漢方薬学特論	2~4	2				○		・高上馬教授・金講師
	薬物分析化学特論	2~4	2				○		・村井教授・佐々木講師
	生体機能解析学特論	2~4	2				○		・北浦准教授
	生物物理化学特論	2~4	2				○		・吉村教授・佐藤准教授
	食品機能解析学特論	2~4	2				○		・浜上教授・小林(大)准教授
	予防医療学特論	2~4	2				○		・小島教授・寺崎准教授
	ゲノム解析学特論	2~4	2				○		・中川(宏)教授・土田講師
	感染症学特論	2~4	2				○		・大澤准教授
	小計(10科目)	-	20					-	
臨床薬学応用科目	臨床薬理学特論	2~4	2				○		・柳川教授・水野講師
	臨床診断学特論	2~4	2				○		・泉教授・大橋准教授・鹿内講師
	病態解析学特論	2~4	2				○		・飯塚教授・町田准教授
	薬動学特論	2~4	2				○		・小田准教授
	臨床薬物動態学特論	2~4	2				○		・小林(道)教授・伊藤准教授
	レギュラトリーサイエンス特論	2~4	2				○		・柴山教授・中川(勉)准教授・久保講師
	医薬品情報学特論	2~4	2				○		・平野教授・中山講師・櫻田講師・早坂講師
	地域医療実践学特論	2~4	2				○		・(令和6年度開講せず)
小計(8科目)	-	16					-		
課題研究	課題研究	1~4	10					○	・小林(健)教授・村井教授・吉村教授 ・浜上教授・小島教授・中川(宏)教授 ・柳川教授・泉教授 ・飯塚教授・柴山教授・小林(道)教授・平野教授 ・高上馬教授・山田准教授・佐藤准教授 ・北浦准教授・小林准教授・寺崎准教授 ・大澤准教授・大橋准教授・町田准教授 ・小田准教授・中川(勉)准教授・伊藤准教授
	小計(1科目)	-	10					-	
合計		-	16	40				-	g

修了要件及び履修方法：必修科目20単位（基盤研究科目6単位、所属する研究分野の薬学基礎科目4単位、課題研究10単位）及び選択科目10単位以上（所属する学系の応用科目8単位以上、所属以外の学系の応用科目2単位以上）の合計30単位以上修得し、必要な研究指導を受け、学位論文の審査および最終試験に合格すること。